

# 新風

平成26年1月31日  
多治見市立陶都中学校  
No.14

## 「あたり前のことをあたり前に！」

校長 加納 昭仁

平成24・25年度の学校経営方針に「あたり前のことをあたり前に！」という一文を入れました。あたり前のことをあたり前にできる生徒のいる学校をめざそう、という意味です。学校教育は、将来の社会の担い手をはぐくむという重大な使命をもっています。このことは、家庭や地域（社会）にも同じことが言えます。延々とつながってきている先人＝大人の責務です。「あたり前のことをあたり前に！」とは、社会の担い手としての重要な資質として挙げられると考えます。では、具体的にどんなことがあるのか・

- 1 明るいあいさつをする。→あいさつは人間関係の原点
- 2 何かしてもらったら「ありがとう」を言う。→小さなことにも感謝の気持ちをもつ
- 3 使った物は必ずもとのところにもどす。ちらかしたら自分で片付けをする。→整理整頓  
学校は、集団生活の場です。身勝手な行動ではなく、仲間を思いやった行動  
**「はきものがそろえば、心もそろろう」**
- 4 人の物には手を出さない。→人間として守らなければならない最低限の規範
- 5 人をぶたない。→人間尊重の原点
- 6 人の迷惑になることをしない。→学校では、人の話を静かに聞くことが重要
- 7 悪いことをしたら「ごめんなさい」。→人には失敗もある。素直に心からあやまることの大切さ
- 8 ルールを守り、仲間を裏切る行為をしない。→ルールをど真ん中で守る心の重要性
- 9 食事の前には手を洗い、ご飯はよくかんで食べる。  
→衛生、健康の基本
- 10 よく学び、よく遊び、よく眠る。→生きることの基本

どれもそんなに難しいことではありません。全て普通にクリアしている生徒はたくさんいます。でも一部の身勝手な生徒がいると、学校としてはすぐ崩れてしまいます。学校としての力を問われることとなります。「あたり前のことをあたり前に！」ということは、学校としては逆に大変難しいことかもしれません。今、本校はこれにチャレンジしています。600名ほどの生徒の真の力にと学校全体で取り組んでいます。できることが少しずつ増えてきています。



家族で情報モラルについての話し合いをしましょう

多治見市教育委員会

メールやゲームなどのインターネットを通じた利用は、とても便利で楽しいものです。しかし、利用の方法や内容によっては子どもたち同士でトラブルが起きたり、トラブルに巻き込まれたりしています。中には、子どもにそのつもりはなくても相手を傷つけてしまったり、興味本位でつい利用してしまった時に危険を伴うことがあったりします。

そこで、日頃またはこれから子どもが利用する家族は、トラブルの未然防止のために、子どもと一緒に情報モラルについて以下を参考にしながら話し合っておくことが大切です。

(例) ・利用する場所（居間など）や、時刻や時間を決める。

- ・家族と一緒に話などをしているときや、食事中には利用しない。
- ・他人を傷つけるような利用の仕方をしない。
- ・知らないところからきたメールなどには返信をしない。
- ・知らない人に個人情報(名前、住所、電話番号、メールアドレスなど)を教えない。